

一般講演

講演12分(1鈴10分・2鈴12分), 討論3分(3鈴15分)

第2日 3月15日(木)

A会場(一般教育A棟 A41教室)

午前の部 9:00~11:15

- 9:00 A201 JH 応答配列を用いたレポータージーンアッセイによる幼若ホルモンアンタゴニストの探索
○古田賢次郎¹, 粥川琢巳², 舛本将明¹, 古浦 眞¹, 篠田徹郎² (1 島根大・生資料, 2 農生資研)
- 9:15 A202 N-置換フェニル- γ -ラクタム類の脱皮ホルモン受容体に対する結合親和性と転写活性化能
赤羽 祥, ○中川好秋, 宮川 恒 (京大院・農)
- 9:30 A203 γ -BHC 関連化合物の合成と活性
○田中啓司¹, 森本正則¹, 松田一彦¹, 栗原紀夫² (1 近畿大・農, 2 京大)
- 9:45 A204 アルキル化イミダクロプリド類縁体の三次元定量的構造活性相関解析
○長岡ひかる¹, 西脇 寿¹, 栗山光博¹, 加藤 聡¹, 赤松美紀², 山内 聡¹, 首藤義博¹ (1 愛媛大・農, 2 京大院・農)
- 10:00 A205 除草活性を有するチアゾリジン誘導体の合成と構造活性相関
○井上朋子¹, 渡邊 大², 近藤 智², 大谷隆太³, 大野竜太¹ (1 相模中研, 2 北興化学, 3 玉川大院・農)
- 10:15 A206 N-スルホニルピリミジン-2-カルボン酸アミド誘導体の合成と除草活性
○志鎌大介¹, 吉村 巧¹, 高部文明¹, 漆畑育巳², 花井 涼² (1 ケイ・アイ研究所, 2 クミアイ化学)
- 10:30 A207 5-置換-1,2,3-トリアゾール-4-カルボキサミド誘導体のウキクサに対する活性とPET 阻害活性
○大谷隆太¹, 檜本将大², 池田佑美¹, 河野 均¹, 大野竜太³, 佐藤幸治¹ (1 玉川大院・農, 2 玉川大・農, 3 相模中研)
- 10:45 A208 放線菌の生産する植物毒素 thaxtomin 類縁体の構造と活性 (第二報)
○蛭田麻理, 飯島昌世, 川出 洋, 夏目雅裕 (農工大院・農)
- 11:00 A209 卵菌 *Aphanomyces cochlioides* 遊走子の宿主認識機構に関する考察
○橋床泰之, Wang Mengcen, 高山智光, 田原哲士 (北大院・農)
-

午前の部 9:00~11:15

- 9:00 B201 SEAP レポーターアッセイによるカイコオクトパミン受容体の薬理解析
○野田啓太¹, 鴛海 央¹, 太田広人¹, 林 直孝², 今井哲弥², 尾添嘉久³, 森村 茂¹, 木田建次¹ (1 熊本大院・自然科学, 2 大塚アグリ, 3 島根大・生資科)
- 9:15 B202 A2' 変異型 *Drosophila* RDL GABA 受容体に対するアンタゴニストの作用
○中尾俊史, 浜 まさ子, 平瀬寒月 (三井化学アグロ・農化研)
- 9:30 B203 Synthesis of 4-(6-imino-3-aryl/heteroarylpyridazin-1-yl)butanoic acids and their antagonist activity toward insect GABA receptors
○ Mohammad Mostafizur Rahman¹, Yuki Akiyoshi², Shogo Furutani³, Kazuhiko Matsuda¹, Kenjiro Furuta², Yoshihisa Ozoe^{1,2} (1 United Grad. Sch. Agric. Sci., Tottori Univ., 2 Dept. Life Sci. Biotechnol., Shimane Univ., 3 Dept. Appl. Biol. Chem., Kinki Univ.)
- 9:45 B204 ワモンゴキブリおよびラット神経細胞に発現する GABA およびグルタミン酸作動性クロロイオンチャンネルに対する二環式リン酸エステルの選択的作用
○秋吉優季¹, 古谷章吾², 松田一彦², 尾添嘉久¹ (1 島根大・生資科, 2 近畿大・農)
- 10:00 B205 カイコ抑制性グルタミン酸受容体: 多様なアイソフォーム間の特性比較
○古谷章悟¹, 山口武則¹, 神橋貴彦¹, 入江貴裕², 尾添嘉久², 松田一彦¹ (1 近畿大・農, 2 島根大・生資科)
- 10:15 B206 フルベンジアミド殺虫活性の昆虫種選択性に関する分子生理学的検討
○森 泰生^{1,2}, 森 恵美子¹, 黒川竜紀¹, 犬飼佳代³, 小山祥平¹, 清中茂樹^{1,2} (1 京大院・工, 2 京大院・地球環境, 3 日本農薬)
- 10:30 B207 スプライスバリエントによって異なるイエバエ成虫グルタミン酸作動性クロロイオンチャンネルの局在と機能
○喜多 知¹, 尾添富美代², 東 政明¹, 尾添嘉久² (1 鳥取大院・連農, 2 島根大・生資科)
- 10:45 B208 イエバエ由来ヒスタミン作動性クロロイオンチャンネルのクローニングと機能解析
○入江貴裕, 喜多 知, 野村和希, 尾添 富美代, 尾添嘉久 (島根大・生資科)
- 11:00 B209 コナガの合成ピレスロイド剤抵抗性に関わるナトリウムチャンネルのアミノ酸変異の頻度 - 日本, 中国, タイ系統の比較 -
○園田昌司¹, 宮田 正², 史 雪岩³ (1 岡山大・植物研, 2 名古屋大, 3 中国農業大学)

第2日 3月15日(木)

B会場(一般教育A棟 A36教室)

午後の部 13:30~14:15

- 13:30 B210 メトコナゾールによる赤かび病菌のカビ毒産生の抑制機構の解析
○西内 巧¹, 浅野智哉¹, 豎石秀明² (1 金沢大・学際科学実験セ, 2 クレハ総合研)
- 13:45 B211 ボスカリド耐性灰色かび病菌の *sdhB* 遺伝子変異と新規 SDHI 剤フルオピラムに対する感受性
○石井英夫¹, 鈴木啓史², 柿嶋 真³ (1 農環研, 2 三重農研, 3 筑波大院・生命環境)
- 14:00 B212 アカパンカビのエルゴステロール生合成阻害剤により誘導される遺伝子のアレイ解析
○宮下 基, 高橋正和, 亀井誠之, 藤村 真 (東洋大院・生命科学)
-

午前の部 9:00~11:15

- 9:00 C201 新規除草剤ピロキサスルホンの作物 (Corn, Soybean) における代謝
○勝又卓己, 池田光政 (クミアイ化学)
- 9:15 C202 新規除草剤ピロキサスルホンのラットにおける代謝
○佐藤怜, 池田光政 (クミアイ化学)
- 9:30 C203 新規除草剤ピロキサスルホンの土壌中における分解
○牛木圭介, 高橋香隆, 池田光政 (クミアイ化学)
- 9:45 C204 新規除草剤ピロキサスルホンの家畜 (Goat, Hen) における代謝
○高橋香隆, 池田光政 (クミアイ化学)
- 10:00 C205 メトキシクロルのラット肝代謝における性差に関する研究 - 脱メチル化代謝物のグルクロン酸抱合化について -
○杉岡大介, 横山恵子, 中村尚徳, 井坂奈々, 大山和俊, 佐藤清 (残研)
- 10:15 C206 水/底質モデルにおけるメトキシクロルの生物学的および非生物学的分解
○増田稔, 薩摩孝次, 林靖, 鴨川愛子, 亀代麻衣子, 佐藤清 (残研)
- 10:30 C207 河川底質より単離された *Bradyrhizobium* sp. によるメトキシクロルの O-脱メチルおよび酸化的脱塩素化反応
○薩摩孝次, 増田稔, 鴨川愛子, 亀代麻衣子, 林靖, 佐藤清 (残研)
- 10:45 C208 新規 γ -HCH 分解菌による δ -HCH の分解
○池澤雄一^{1,2}, 佐々木和佳子², 山崎健一², 岡田早苗¹, 高木和広^{1,2} (1 東農大院・農芸化学, 2 農環研)
- 11:00 C209 土壌・木炭還流法を用いた新規 γ -HCH 分解菌の集積・単離
○高木和広, 佐々木和佳子, 片岡良太 (農環研)
-

午後の部 13:30~17:00

- 13:30 C210 Tornado or chemistry - Determination of residues with their chemical environment
○Torsten Spitzer¹, Toshiji Takaki² (1 Environmental, Industrial and Food Analysis, 2 Takaki Tokusho Kogyo)
- 13:45 C211 自動前処理装置を用いた食品中の残留農薬一斉分析法の妥当性評価
○高宮真美¹, 西山佳央里¹, 鎌倉温子¹, 中村秋香², 宅間範雄¹, 西森一誠¹ (1 高知県衛生研, 2 高知県安芸福祉保健所)
- 14:00 C212 非破壊抽出法の浸透移行性農薬残留分析への応用可能性
○渡邊栄喜, 小原裕三 (農環研)
- 14:15 C213 有姿抽出法における溶媒および経過日数と抽出効率
○谷川元一¹, 西川 学², 入江美葵³, 牧浦泰征⁴ (1 奈良防除所, 2 奈良農総セ, 3 近畿大)
- 14:30 C214 グリホサートならびにその代謝物 AMPA の作物残留試験分析法の改良
○田中綾乃, 佐々木 健寿, 小川和雅 (日産化学)
- 14:45 C215 多機能吸着剤を用いた有機性有害化学物質の除去
○殷 熙洙¹, 福井博章², 馬場浩司¹ (1 農環研, 2 東京シンコール)
- 15:00 C216 超臨界流体クロマトグラフィーを用いた残留農薬迅速一斉分析法の開発
石橋愛実¹, 松原惇起¹, 内方崇人¹, 酒井美穂¹, ○安藤 孝², 福崎英一郎¹, 馬場健史¹ (1 大阪大院工・生命先端工, 2 宮崎農試)
- 15:15 C217 縮分操作がハクサイ中の残留農薬の分析値に与える影響
○矢島智成, 藤田眞弘, 富山成人, 飯島和昭, 佐藤 清, 加藤保博 (残研)
- 15:30 C218 縮分操作が結球レタス中の残留農薬の分析値に与える影響
○飯島和昭, 逆井 美智子, 矢島智成, 藤田眞弘, 富山成人, 佐藤 清 (残研)
- 15:45 C219 水田における後作物への残留調査について
○荒井雄太¹, 六原智子¹, 皆川保雄², 山岸久芳², 高木 豊³ (1 日植防・茨城研, 2 日植防・千葉試験場, 3 日植防・調査企画部)
- 16:00 C220 近紫外線除去フィルム下でのトマトにおける農薬残留特性の解明
○林裕美, 小山知生 (東京都農総研)
- 16:15 C221 ベーパードリフトによりニラに残留した農薬の輸送過程における減衰
○佐藤敦彦¹, 市原 勝¹, 小原裕三² (1 高知農技セ, 2 農環研)
- 16:30 C222 ベビーリーフ(幼葉)としての4作物間の農薬残留の相違
○望月 証¹, 井上美智子², 清水克彦² (1 兵庫農総セ, 2 元兵庫農総セ)
- 16:45 C223 地域特産野菜の農薬残留に関する研究 -ハナニラとニラの残留濃度比較-
○島本文子(高知農技セ)

午前の部 9:00~11:15

- 9:00 A301 新規殺菌剤ピリオフェノン(プロパティ®)に関する研究~第2報 キュウリうどんこ病に対する効果
○小川宗和, 西村昭廣(石原産業中研)
- 9:15 A302 イネばか苗病の生物防除効果安定性向上を目指した新規微生物資材の探索
○加藤亮宏¹, 野中陽子¹, 岩崎昌美¹, Thuy Tran Thi Thu², 倉内賢一³, 大場淳司⁴, 寺岡 徹¹, 有江 力¹(1 農工大院・農, 2 カントー大, 3 青森産技セ, 4 宮城古川農試)
- 9:30 A303 A rice rhizoplane fungus as a biocontrol agent against rice seedling blight causative *Burkholderia plantarii* via its bioactive secondary metabolites
○王 蒙岑, 橋床泰之(北大院・農)
- 9:45 A304 新規殺ダニ剤NNI-0711に関する研究(第1報) 合成と生物活性
○古谷敬, 町谷幸三, 八十川伯朗, 諏訪明之, 中野元文, 藤岡伸祐(日本農薬)
- 10:00 A305 新規殺ダニ剤 NNI-0711 に関する研究(第2報)呼吸鎖電子伝達系に対する作用
○中野元文, 八十川 伯朗, 諏訪明之, 井澤憲満, 藤岡伸祐, 古谷 敬(日本農薬)
- 10:15 A306 フェノキサスルホン・ピリミルスルファン混合剤の水稻一発処理除草剤としての特性
○高橋優樹, 朝倉草平, 花井 涼(クミアイ化学)
- 10:30 A307 ピロキサスルホンとベンチオカーブの混用によるネズミムギに対する除草効果
板屋大吾, ○朝倉草平, 佐藤 敦, 小林正典, 種谷良貴, 花井 涼(クミアイ化学)
- 10:45 A308 新規除草剤イプフェンカルバゾンに関する研究 第6報 水稻用除草剤としての作用特性(4)
○小山公平, 兼松 慧, 笠原達矢, 竹内 崇, 高畑好之, 岡村充康(北興化学)
- 11:00 A309 畑作用除草剤ピロキサスルホンのオーストラリアにおけるコムギ用除草剤としての適用性
○山地充洋¹, 板屋大吾¹, 小林正典², 花井 涼¹(1クミアイ化学, 2K-I Chemical U. S. A.)
-

午前の部 9:00~11:15

- 9:00 B301 薬剤の土中灌注処理によるサンゴジュハムシとモンクロシヤチホコの防除
○田中 寛¹, 谷古勝彦², 柴尾 学¹ (1 大阪環農水総研, 2 ダスキン)
- 9:15 B302 水稻病虫害防除における微粒剤Fを用いた農薬ドリフト低減効果
○鈴木雄一¹, 杉山恵乃¹, 皆川 博¹, 横須賀知之¹, 川島隆弘² (1 茨城県農総セ・農研, 2 クミアイ化学)
- 9:30 B303 ドリフト低減ノズルの効果に及ぼす風速の影響
○山本幸洋¹, 真行寺 孝² (1 千葉農林総研, 2 現 千葉県農林水産部担い手支援課)
- 9:45 B304 種の感受性分布法を用いた育苗箱施用殺虫剤の生態リスク比較
○永井孝志, 横山淳史 (農環研)
- 10:00 B305 数種水田用除草剤に対するニホンアマガエルとネッタイツメガエル幼生の感受性
○大津和久 (農環研・有機化学物質)
- 10:15 B306 低濃度エタノール水溶液を用いた土壌還元消毒法での金属イオンの消長について
○小原裕三¹, 門馬法明², 與語靖洋¹ (1 農環研, 2 日園研)
- 10:30 B307 農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第1報 農薬の土壌吸着について
○元木 裕¹, 岩船 敬², 清家伸康¹, 大谷 卓¹ (1 農環研, 2 農水消費安全技術セ)
- 10:45 B308 MALDI-TOF MSを用いたS10-GERMS法による農薬補助剤分解菌の迅速系統分類
○堀田雄大^{1,2}, 佐藤浩昭³, 細田晃文¹, 田村廣人¹ (1 名城大・農, 2 JSPS-PD, 3 産総研・環境管理)
- 11:00 B309 カボチャにおけるヘプタクロル類吸収のリスク管理
○上野 達¹, 中本 洋^{1,2}, 中津智史¹ (1 道総研・中央農試, 2 現 道総研・上川農試)
-

午後の部 13:30~16:45

- 13:30 B310 ミトコンドリア複合体-Iの阻害剤結合部位の同定(1):フェンピロキシメートの結合部位
○白石悠祐, 村井正俊, 崎山直人, 三芳秀人(京大院農)
- 13:45 B311 ミトコンドリア複合体-Iの阻害剤結合部位の同定(2):結合部位の概観
○村井正俊, 白石悠祐, 崎山直人, 三芳秀人(京大院農)
- 14:00 B312 光反応性アセトゲニンの合成と作用機構研究
○安部真人, 中西佐予, 山本修平, 三芳秀人(京大院農)
- 14:15 B313 新規殺ダニ剤シフルメトフェン(ダニサラバ®)に関する研究-作用機構-
○林直孝, 笹間康弘, 高橋宣好, 池見直起(大塚アグリ・鳴門研)
- 14:30 B314 トビイロウンカのイミダクロプリド抵抗性機構の現状:P450酵素遺伝子の高発現
○野田博明¹, 中村有希¹, 河合佐和子¹, 末次克行¹, 古崎利紀¹, 篠田徹郎¹, 山本公子¹, 真田幸代², 松村正哉², 中平国光³, 尾添嘉久⁴(1農生資研, 2九州沖縄農研セ, 3日産化学, 4島根大)
- 14:45 B315 昆虫の飛翔を阻害するカメムシ由来 4-oxo-(E)-2-hexenalによる昆虫タンパク質の変動解析
○野下浩二, 阿部誠, 田母神繁(秋田県大・生資科)
- 15:00 B316 水稲直播水田におけるシハロホップブチル抵抗性ヒメタイヌビエの発生
○那須英夫(全農おかやま肥料農薬課)
- 15:15 B317 除草剤ベンチオカーブの作用機構
○種谷良貴, 角康一郎, 池田光政, 清水力(クミアイ化学)
- 15:30 B318 新規除草剤ピリミスルファンに関する研究-作用機構及び選択性機構解析-
○角康一郎¹, 堀田順子¹, 吉村巧², 池田光政¹, 清水力¹, 野中聡子^{3,4}, 土岐精一⁴
(1クミアイ化学, 2ケイ・アイ研究所, 3現筑波大学・遺伝子セ, 4農生研・植物)
- 15:45 B319 タイヌビエのシトクロムP450遺伝子とその除草剤耐性への関与
○岩上哲史¹, 遠藤真咲², 雑賀啓明², 渡邊寛明³, 土岐精一², 内野彰³, 稲村達也¹
(1京大院農, 2農生資研, 3中央農研)
- 16:00 B320 ヤエヤマサソリ毒液由来殺虫性ペプチドLaIT1のNMRによる溶液構造の決定
○宮下正弘¹, 堀田彰一郎², 宮川拓也², 中川好秋¹, 永田宏次², 田之倉優², 宮川恒¹(1京大院農, 2東大院農生科)
- 16:15 B321 殺虫性ペプチドLaIT1の活性に影響するアミノ酸残基
○榎谷貴洋, 宮下正弘, 中川好秋, 宮川恒(京大院農)
- 16:30 B322 イモゾウムシ行動制御物質の探索 その2
○佐々木寛子¹, 原口大², 松山隆志³, 泉実¹, 宮竹貴久⁴, 中島修平¹(1岡山大院・自然科学, 2沖縄農研センター, 3沖縄防除センター, 4岡山大院・環境)

午前の部 9:00~11:15

- 9:00 C301 残留性有機汚染物質へプタクロルの畑土壌中運命
○林 靖, 亀代麻衣子, 鴨川愛子, 増田 稔, 薩摩孝次, 佐藤 清 (残研)
- 9:15 C302 有機塩素系殺虫剤残留土壌から分離した糸状菌による土壌中のエンドスルファン分解
○片岡良太¹, 高木和広^{1,2} (1 農環研, 2 東農大)
- 9:30 C303 *Rhodococcus* 属によるエンドスルファンスルフェートの分解と代謝物
○川島藤正^{1,2}, 片岡良太², 山崎健一², 榊原風太^{1,2}, 岡田早苗¹, 高木和広^{1,2} (1 東農大院・農芸化学, 2 農環研)
- 9:45 C304 作物中ディルドリンの体内分布
○清家伸康¹, 齋藤 隆², 大谷 卓¹ (1 農環研, 2 福島県農総セ)
- 10:00 C305 植物の根による脂溶性化合物の吸収経路
○山崎清志¹, 鶴田宏樹¹, 乾 秀之² (1 神戸大・応用構造セ, 2 神戸大・遺伝子セ)
- 10:15 C306 PADDY-Large モデルによる水稻用農薬を対象とした河川水中濃度の不確実性解析
○稲生圭哉, 永井孝志, 堀尾 剛, 岩崎亘典, 横山淳史 (農環研)
- 10:30 C307 イネいもち病菌の生産するサリチルアルデヒド型毒素類の合成研究
佐々木郁香¹, 長島優太¹, 田中功二¹, 中村葉子¹, 桑原重文¹, 貫名 学², ○清田洋正¹ (1 東北大院・農, 2 山形大・農)
- 10:45 C308 フルオロメチル化試薬を用いた含フッ素イソキサゾリン誘導体の合成
○古川達也, 川添惇平, 西峯貴之, 張 偉, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 11:00 C309 環境にやさしい溶媒ソルカンを用いる鈴木宮浦カップリング反応
○東 綾香, 徐 修華, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
-

午後の部 13:30~16:45

- 13:30 C310 Pd触媒を用いる α -フルオロメチルケトンの合成
○加茂智浩, 鈴木 悟, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 13:45 C311 有機触媒を用いる光学活性 β -トリフルオロメチルピロリンの合成
○杉田 豊, 河合洋幸, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 14:00 C312 インドール類に対するFBSMを用いたモノフルオロメチル化反応
○松崎浩平, 古川達也, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 14:15 C313 F3TBSIを用いる β -トリフルオロアミノ酸の不斉合成
○柴田直幸¹, 西峯貴之¹, 香川 巧², 徳永恵津子¹, 河田恒佐², 柴田哲男¹ (1名工大院工, 2東ソー・エフテック)
- 14:30 C314 オオムギにおける病原菌感染によるセロトニンおよびセロトニン類縁化合物の蓄積
○石原 亨¹, 林 典子¹, 久米田理恵¹, 深水愛理沙², 若狭 暁³, 宮川 恒⁴, 中島廣光¹ (1鳥取大・農, 2鳥取大院・農, 3東農大・応生科, 4京大院・農)
- 14:45 C315 メチルジャスモン酸存在下でのヒナタイノコズチ葉における揮発性有機化合物の受容と代謝
○田母神 繁, 野下浩二, 阿部 誠 (秋田県立大学・生物資源)
- 15:00 C316 植物病害抵抗性を制御する物質の探索とその作用機構
○中村英光¹, 徐 銀卿¹, 森 昌樹², 浅見忠男¹ (1東大院・農生科, 2農生資研)
- 15:15 C317 イネ病害抵抗性反応を誘導する新規アシルポリアミン誘導体
○彦坂政志¹, 中村英光¹, 前田 哲², 森 昌樹², 岡田憲典³, 山根久和³, 浅見忠男¹ (1東大院・農生科・応生化, 2農生資研, 3東大生物工学セ)
- 15:30 C318 イネいもち病菌弱毒化マイコウイルスの構造タンパク質の機能解析とウイルス画分産生系の検討
○森山裕充, 浦山俊一, 太田智子, 島田晶貴, 福原敏行, 有江 力, 寺岡 徹 (農工大院・農)
- 15:45 C319 天然ブタン型リグナンの殺虫効果と、構造が活性に与える影響
○長谷部 綾香¹, 西脇 寿¹, 赤松 美紀², 首藤 義博¹, 山内 聡¹ (1愛媛大・農, 2京大院・農)
- 16:00 C320 殺ボウフラ活性を示す植物成分の探索(3):クサノウ (*Chelidonium majus* L. subsp. *asiaticum* Hara) に含まれる殺虫性アルカロイド
○上野民夫, 井上雅文, 勝田純郎 (大日本除虫菊・中研)
- 16:15 C321 β -N-Acetylglucosaminidase 阻害物質 TMG-chitotriomycin の阻害選択性に関する詳細検討
○塩田博人¹, 臼木博一^{2,3}, 神崎 浩¹, 仁戸田照彦¹ (1岡山大院・自然科学, 2岡山生物研, 3JSPS-PD)

- 16:30 C322 除草剤イソキサベン様活性を示す化合物
北畑信隆¹, 早瀬大貴^{1,2}, 中野雄司², ○浅見忠男^{1,2} (1 東大院・農生科, 2 理研)
- 16:45 C323 ジベレリン生合成酵素制御剤CBTCの構造展開と代謝阻害活性の評価
○大谷征史, 尹 禎敏, Seung-Hyun Park, 中村英光, 浅見忠男, 中嶋正敏 (東大院・農生科)
-